

令和2年4月29日

全国知事会会長

飯泉 嘉門 様

愛媛県知事

中村 時広

知事会長として、意見の取り纏め、国との交渉にご尽力頂き、感謝申し上げます。本日の全国知事会WEB会議は、所用のため恐縮ですが欠席とさせていただきます。

昨日お電話で申し上げました通り、以下2点について、書面で意見を提出いたします。

(1) 全国一律で緊急事態宣言の延長を要請することについて

感染拡大を防止するため、都道府県の区域をまたいだ移動の自粛について、継続して国民に要請する必要は理解します。ただし、5月6日までの期限を前提に、歯を食いしばりながら様々な事業者が都道府県知事からなされた休業要請への協力を行うほか、国民が自粛に協力しており、経済活動に深刻な影響が生じています。

全国一律で緊急事態宣言の期限を延長するかどうかは、全国の感染者の状況等をもとに専門家会議での議論を踏まえ、事業者への休業補償をはじめ経済活動への影響も含めて国が総合的に判断し、デメリットを最小化するための対策も含めて国が一元的に対策を講じるべき問題です。「新型コロナウイルス対応地方臨時交付金(仮称)」の増額等を提言案で盛り込んではいないものの、現行の規模をベースとした増額では、事業者の実質的な休業補償に十分な額ではないことは、各都道府県知事も理解いただけるものと考えます。

国の責任のもとで、必要な対策を講じることとセットで期限延長を判断することは否定いたしません。地方の側から全国一律での期限延長を国に求めるべき問題ではないと考えます。

(2) 9月からの入学問題について

9月からの入学問題につきましては、導入の議論を今後進めることに異論はございませんが、本年度を含めた性急な導入につきましては反対の立場とさせていただきます。

コロナ対策における政策展開にはスピード感が重要と心掛けておりますが、この問題について同じ土俵で展開速度を論じることに抵抗を感じます。その理由は以下の通りです。

- (1) 全国一斉の緊急事態宣言が出されている現在、この段階で行政が集中すべきは感染拡大阻止への取り組み及び医療体制の整備であり、その他の問題に時間と手間を割くことに抵抗を感じます。県民に対しても感染拡大阻止の注意喚起を連日促しており、そこに集中して頂くべき期間と考えます。
- (2) 社会全体の受入態勢無くして拙速に進めることは、就職・受験など、現役学生の人生はもとより、受入側の企業等にも大きな混乱を招きかねません。
- (3) この議論が、何より学業とコロナに対する不安感に日々向き合っている子供たちの心に与える負担感に思いを馳せるべきと思います。特に大学入試制度が急遽変更

され、現在の高校3年生には本人・保護者ともに強い不安感があります。

- (4) 我が国では奨学金を利用する大学生も多く、今回の影響により生活費の確保に汲々とするなど、学業と生活の両立が困難となる者が続出しています。彼らの救済策を講じることこそ、大学側で今、最も優先させるべき問題と考えます。
- (5) ネット上で賛同が多いことを推進判断の一つとすることに抵抗感があります。
- (6) 混乱している時にしか変えられないという考え方にも一理ありますが、混乱している時にこそ冷静に考えることも重要ではないかと考えます。
- (7) これほど大きな問題に対して、17人もの知事が全会一致となった議論そのものに不安を感じます。

以上のことから、仮に全国知事会で国に実施検討要請を決議することがある場合は、明確に反対の意見があったことを付言して頂きますようお願い申し上げます。

欠席する立場で誠に勝手なことを申し上げますが、お取り計らいの程、何卒宜しくお願い致します。尚、この文書は地元マスコミから質問を受けた場合、配布させて頂きますことをご理解願えればと思います。